

警城新聞

休刊 大祭第一日
定例 二十日、二十一日、二十二日
廣告料 二行半指定（紙幣）
印刷所 福島縣平町町六
編輯所 警城新聞社

創作 柳橋 (一)

平 茨 涼香
それはワイシャツ一枚で、
移り替わつてゐても汗が流れ
にじむと言ふ暑き八月の卒
であつた。涼太郎が移つて
居る南洋銀行に元務めて居
た藤井柳二が銀行をやめて
上京し上京した當座は職が
なく、妻の幸子は元藝妓し
た事があるで、熱い身を助
けたらとへ深川遊のドコカ
の二階を借りして幸子は
夫の二階で就職する迄左様
を取る身となつた。然し何
にせよ田舎で元した藝妓の
身で都で夫を食せさせ家賃
を拂つて過さうと言ふのだ
から並大抵の苦しみでな
かつた。それでも二ヶ月
の露命をドウニかつて居
る内に知人の世話で柳二
は或る材木店へ務める事に
なつた。一ヶばかり居る
うちに材木店の出張所が深川
に出来たのはその會計係兼
主任となつた。月給は七拾
圓それと手當が五拾圓一
ヶ月収入百二十拾圓にな
つた。そして過去の苦しみは
どこへやら効外へ相當な家
を借り可成り生活を始めた
彼は銀行員時代は銀行員の

讀者欄

岡目は八百

李兵衛生

普通第三者と稱する局
外者の批評に概して正當
に近いものだ。進展し行く
件の前途が判然と見えな
る。之を岡目八百と云ふ。
蓋し局外者は自個に何等
利害關係なくして虚心坦
に觀察し得るが故であら
う。然らば夫がたがひを
局に當ると必ず迷つて來
りて造り損なふが當り是
れ自個の利害に執着して
滅法の態度を評して鹿を
よ獵夫山を見守る。云ふ
例入江市井、易者や、

君の事を「みささ」に話せ
しところは非涼太郎さん
の御顔を拜顔したいた
と毎度せがまされ候に付
萬原御縁合の上御上京後
ら御待ち候、候
柳二
涼太郎は土曜日の午後二時
の汽車で上野邊町に上
ち過ぎ御縁有りませんの
か小生今度或る知人の世
話に職を得、月給百二
拾圓の高給サラリーマン
の柳二兄と一躍なりまた
したから御安心の程を、
お金の使所が無く、
最近ヤツト苦心の結果柳
橋に可愛可愛美技を見付
け彼の女は當年取つて芳
紀正に十八歳のトヲシヤ
に候、彼の女に逢ひま
日は何となく頭が霞み仕
事手に付かず又彼の女名
は松千代も小生に逢ひま
は千秋の思ひなりと申し
居り色戀は何處の地も不
御縁候成金の柳二となつ
た今日金なんか不自由
かひないから体丈にて是
非一度上京してくれ給へ
君の一夜の奧さんはチヤ
ント定めて置きました名
は「みささ」ともやまし
き美技に有之背は一
寸ひくいがすうとした
柳腰當年取つて十七歳の
初戀な可愛可愛御人さ
歩すべし日六六日 初めに



難色ある事も幾は次第に亭
通すべし七赤 果斷を欠
くときは何事も捗らざる
なり八八 若心の企て事
が追々と利得に向ひ来る
日九紫 人の事にて迷惑
失費多し世話事は注意の事
君も... 不意打は単法で
すよ、ハイ、御返杯
とた君は手逸く猪口を返
返辭を聞かして呉れ、富
は強硬談判。小玉のこめ
みに少く貼りつけた江戸
櫻がびりりと揺くやうに見
られたが頓て雪の頬につ
こりと笑顔を満ちさせて
愛くるしい眼元に男の顔を
仰ぎながら
「オホ、たつた文句で
おふんなるのね、戯談と
云つたのがお氣に召さない
かは知れませんが、妾の身
になつたらさうとしか取れ
ないぢやありませんか、
第一尊君なんぞは勇前が良
し、口前でコロコロとせ
色悪でらつしやるところ
に三十萬とやらを身体を握
つてゐらつしやる立派な目
那までせう、藝者衆の眼
から見たらそれこそ浦島
のやうな殿御ですわ、その
浦島さんが浮氣を爲やうと
思へば、何處の龍宮に入ら
しつたて手當にせに乙姫
の撫斬がたまになさるの
何と醉狂に妾のやうな河豚
のた化を捉まへてそんな殺
し文句をおつしやらないと
もい、ぢやありませんか
それとも此の頭になつて急
に女早がしたんですか、ま
ア御身分を考へてからたか
らかひなさいよ」
と嬉しうがせのやうな冷
嘲すやうな皮肉を言つての
りて笑ひながら視る、その
あごを前に突出してや
らばならぬいせ」
と、あらいやな、又た御縁
を向いた。
此時涼太郎は何邊に？
此の談話で見ると富蔵は
何時まで空想の夢夢に耽
れ玉に會つたらしい、會つた
らば、國民の同情は必
ずや余然として集まつたに
相違ない。實に惜いことを
したので。

上田醫院 電話一七〇番

平町南町 高久病院 電話五二三番

靴製造ト修繕 並に附屬品一切 大勉強 深谷卯三郎靴店

耳、鼻、咽喉科 新築落成 大和田醫院

共濟病院 看護婦見習募集

星眼科醫院 星恒明

高久病院 電話五二三番

赤心堂病院 電話四七五

共濟病院 看護婦見習募集

蜂ブドウ酒

人生の最大な幸福は、一家揃つて健康なることであり、美はしき皮膚の精彩と、魅力ある健康と美とを創造する蜂ブドウ酒の食前常用は、人即生活のヨリ光明へ、ヨリ幸福へと導く唯一の捷徑であります。

貸切自動車の御用命は 昭和タクシーへ 高級車で乗心地の好い 昭和タクシー 電話三四三番

靴製造ト修繕 並に附屬品一切 大勉強 深谷卯三郎靴店

耳、鼻、咽喉科 新築落成 大和田醫院

共濟病院 看護婦見習募集

上遠野裁縫校の生徒連袂退學

教員の誠首を憤り 教育界の診事件

石城郡入遠野村私立上遠野裁縫校は突然吉田に對して裁縫女學校生徒七十餘名が退學の通知を發せしむる設立者たる理事折笠利市氏に對して吉田(三)に對する反感より去るを爲し辭職を強要したる六日連袂退學し、

校舎を去つて別に民家を借り、同教員吉田(三)に對する反感より去るを爲し辭職を強要したる六日連袂退學し、

教育界の診事件

關係を絶ち別に民家を借り、同教員吉田(三)に對する反感より去るを爲し辭職を強要したる六日連袂退學し、

植田を素通りする 鮮魚列車を停車

最近漁業の發達から 實現或は容易

植田町大字小濱海岸に於いて三十萬圓を得るの見込あり、

鮮魚列車を停車

實現或は容易

平町の土木

委員監督工事中

平町

土木

養鶏の常識

鈴木技師の著述

養鶏

常識

歸れぬ少年

湯本の團次郎

歸れぬ少年

養鶏の常識

鈴木技師の著述

歸れぬ少年

湯本の團次郎

養鶏の常識

鈴木技師の著述

歸れぬ少年

湯本の團次郎

養鶏の常識

鈴木技師の著述

歸れぬ少年

湯本の團次郎

養鶏の常識

鈴木技師の著述

歸れぬ少年

湯本の團次郎

養鶏の常識

鈴木技師の著述

養鶏の常識

鈴木技師の著述

歸れぬ少年

湯本の團次郎

養鶏の常識

鈴木技師の著述

歸れぬ少年

湯本の團次郎

養鶏の常識

鈴木技師の著述

歸れぬ少年

湯本の團次郎

養鶏の常識

鈴木技師の著述

歸れぬ少年

湯本の團次郎

養鶏の常識

鈴木技師の著述

養鶏の常識

鈴木技師の著述

歸れぬ少年

湯本の團次郎

養鶏の常識

鈴木技師の著述

歸れぬ少年

湯本の團次郎

養鶏の常識

鈴木技師の著述

歸れぬ少年

湯本の團次郎

養鶏の常識

鈴木技師の著述

歸れぬ少年

湯本の團次郎

養鶏の常識

鈴木技師の著述

養鶏の常識

鈴木技師の著述

歸れぬ少年

湯本の團次郎

養鶏の常識

鈴木技師の著述

歸れぬ少年

湯本の團次郎

養鶏の常識

鈴木技師の著述

歸れぬ少年

湯本の團次郎

養鶏の常識

鈴木技師の著述

歸れぬ少年

湯本の團次郎

養鶏の常識

鈴木技師の著述

却下の指令にめげず 踏切開修陳情

平、小線の實現に直面し 熱心な平鐵北民

平町鐵道以北の仲間町、北増するものと観られてゐる

却下の指令にめげず 踏切開修陳情

却下の指令にめげず 踏切開修陳情

平、小線の實現に直面し 熱心な平鐵北民

却下の指令にめげず 踏切開修陳情

平、小線の實現に直面し 熱心な平鐵北民

却下の指令にめげず 踏切開修陳情

平、小線の實現に直面し 熱心な平鐵北民

兒童愛護十則

子供の病の親の罪

世界の文明國で日本ほど二、三倍も心と言葉美

兒童愛護十則

兒童愛護十則

子供の病の親の罪

兒童愛護十則

子供の病の親の罪

兒童愛護十則

子供の病の親の罪

未納された罰金の 平區裁判所當局

これが整理に苦心する

常務各炭礦では従業員中主として賭博犯で昨年三月以降

未納された罰金の 平區裁判所當局

未納された罰金の 平區裁判所當局

これが整理に苦心する

未納された罰金の 平區裁判所當局

これが整理に苦心する

未納された罰金の 平區裁判所當局

これが整理に苦心する

共同作業

諸機械の設備

石城郡泉村大字本谷下坪實

共同作業

共同作業

諸機械の設備

共同作業

諸機械の設備

共同作業

諸機械の設備

人口調査

本郡下の 一萬人以上の

石城郡下町に於いて人口

人口調査

人口調査

本郡下の 一萬人以上の

人口調査

本郡下の 一萬人以上の

人口調査

本郡下の 一萬人以上の

女教員が縊死

自宅の物置内で

石城郡四倉町字元町生れ目

女教員が縊死

女教員が縊死

自宅の物置内で

女教員が縊死

自宅の物置内で

女教員が縊死

自宅の物置内で

吉田眼科醫院

平町細屋町

吉田眼科醫院

吉田眼科醫院

平町細屋町

吉田眼科醫院

平町細屋町

吉田眼科醫院

平町細屋町

吉田眼科醫院

平町細屋町

藤沼醫院

平町細屋町

藤沼醫院

藤沼醫院

平町細屋町

藤沼醫院

平町細屋町

藤沼醫院

平町細屋町

藤沼醫院

平町細屋町

木村外科醫院

平町六丁目(橋際)

木村外科醫院

木村外科醫院

平町六丁目(橋際)

木村外科醫院

平町六丁目(橋際)

木村外科醫院

平町六丁目(橋際)

木村外科醫院

平町六丁目(橋際)